

鳥インフルエンザに関するQ & A

厚生労働省健康局結核感染症課

① そもそもインフルエンザとは何ですか。

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスによる感染症です。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスがヒトや動物に感染することで引き起こされる感染症です。インフルエンザウイルスは抗原性の違いから、A型、B型、C型に大きく分類されます。ヒトでの世界的大流行（パンデミック）を引き起こすのはA型のみとされています。

最近、国内の人の間で流行しているインフルエンザの原因ウイルスは、A/H1N1 亜型と、季節性の A/H3N2 亜型（いわゆる香港型）、B型です。平成21年に発生した新型インフルエンザ等感染症はA/H1N1 亜型のウイルスによるものです。

② 鳥インフルエンザとは何ですか。

鳥類に対して感染性を示すA型インフルエンザウイルスのヒトへの感染症が、鳥インフルエンザです。

また、鳥インフルエンザの原因となるA型インフルエンザウイルスを一般的に、鳥インフルエンザウイルスと呼んでいます。鳥インフルエンザウイルスは、自然界においてカモ、アヒルなどの水鳥を中心とした多くの鳥類が腸内に保有しています。

なお、鳥インフルエンザウイルスがヒトやその他の動物に感染した場合も鳥インフルエンザという感染症名を使用しています。

③ 高病原性鳥インフルエンザとは何ですか。

感染した鶏が高率に死亡してしまうような、病原性が高い鳥インフルエンザです。

鳥インフルエンザのなかでも、鶏に感染させた場合に、高率に死亡させてしまうようなものを高病原性鳥インフルエンザといいます。その原因となるウイルスは高病原性鳥インフルエンザウイルスといいます。高病原性鳥インフルエンザウイルスとしては、H5 亜型のものと H7 亜型のものが知られています。

④ 鳥インフルエンザウイルス（高病原性鳥インフルエンザウイルスを含む）はヒトにも感染するのですか。

通常はヒトに感染しませんが、きわめて稀に感染する場合があります。

鳥インフルエンザウイルスは、通常、ヒトに感染することはありません。しかしながら、

感染した鳥に触れる等濃厚接触をした場合など、きわめて稀に鳥インフルエンザウイルスがヒトに感染することがあります。

近年、インドネシア、ベトナム、タイやエジプトを中心に、H5N1 亜型の高病原性鳥インフルエンザウイルスがヒトに感染し、鳥インフルエンザ（H5N1）を発症した事例が報告されています。

詳細は鳥インフルエンザに関するホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou02/index.html>）をご覧ください。

⑤ 鳥インフルエンザウイルスはどのような場合にヒトに感染するのですか。

現時点では、感染した鳥やヒトと濃厚に接触した場合に限られています。

現時点では、鳥において高病原性を示す鳥インフルエンザウイルスが鳥からヒトに感染するのは、感染した鳥又はその死骸や内臓、排泄物等に濃厚に接触した場合に限られています。

また、鳥インフルエンザウイルスがヒトからヒトに感染するのはきわめて稀であり、感染の事例は、患者の介護等のため長時間にわたって患者と濃厚な接触のあった家族の範囲に限られています。

⑥ 鶏肉や鶏卵を食べて、鳥インフルエンザウイルス（高病原性鳥インフルエンザウイルスを含む）に感染することはありますか。

鳥インフルエンザウイルスについては、これまで、鶏肉や鶏卵を食べることによってヒトに感染したという事例の報告はありません。

なお、WHO（世界保健機関）は、ニワトリなどの家きん類に H5N1 亜型の高病原性鳥インフルエンザが集団発生している地域（東南アジア等）では、家きん類の肉及び家きん類由来製品について、食中毒予防の観点からも十分な加熱調理（全ての部分が 70℃に達すること）及び適切な取扱いを行うことが必要であるとしていますので、鶏肉は十分加熱して食べてください。また、鶏肉を未加熱又は加熱不十分なままで食べることは、食中毒予防の観点からお勧めできません。

また、食品安全委員会も、平成 16 年 3 月に、鶏肉や鶏卵は「安全」とする見解を示しています。詳細は、食品安全委員会ホームページ（http://www.fsc.go.jp/osirase/tori/tori_iinkai_kangaekata.pdf）をご参照ください。

⑦ 鳥インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを含む）と新型インフルエンザとはどのような関連があるのですか。

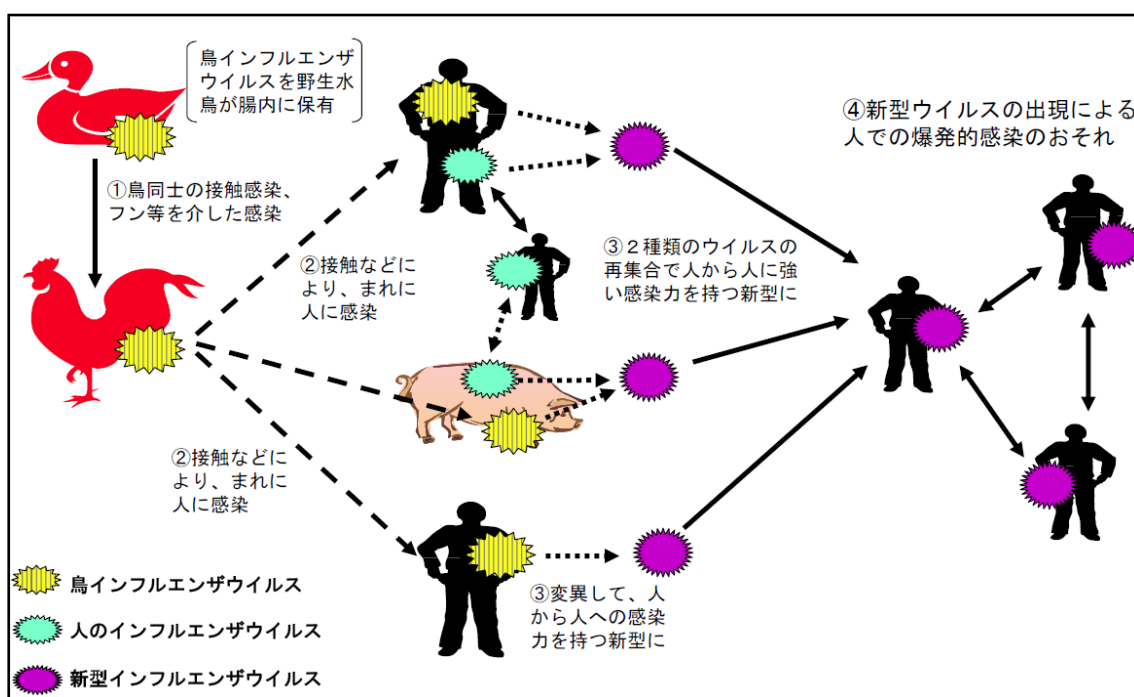
鳥インフルエンザ＝新型インフルエンザではありません。

鳥インフルエンザは、一般的には、インフルエンザウイルスを病原体とする鳥の感染症のことを指します。

その鳥インフルエンザの原因ウイルスが、遺伝子の変異※によって、ヒトからヒトへと効率よく感染する能力を獲得した場合、もともと鳥の感染症であり、大部分のヒトがこのウイルスに暴露したことがないため、ヒトの間で急速かつ大規模な流行を引き起こすおそれがあります。このようなウイルスにより引き起こされるヒトの感染症が新型インフルエンザです。

今までのところ、鳥インフルエンザウイルスがヒトからヒトへ効率よく感染する能力を獲得し、新型インフルエンザウイルスとなったことはありません。

※鳥インフルエンザウイルスが新型インフルエンザウイルスになる仕組みは、2つあります。ひとつは、鳥インフルエンザウイルスがヒトや鳥類の体内で変異し、ヒトからヒトへ感染する新型インフルエンザウイルスになることです。もうひとつは、ヒトや豚に、ヒトのインフルエンザウイルスと鳥インフルエンザウイルスが同時に感染し、それぞれが混ざり合っ、ヒトからヒトへ感染する新型インフルエンザウイルスになることです。（下図参照）



その他、鳥インフルエンザについては国立感染症研究所感染症情報センターホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) も参照してください。